

シュンギクの仕立て法と栽植密度の改善による 省力高品質生産技術

福島県農業試験場 いわき支場
平成13～15年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 03-33-24150827

部門名 野菜－シュンギク－収穫・乾燥・調製
担当者 常盤秀夫・石井睦美

I 新技術の解説

1 要旨

シュンギク生産上の労働の多くは収穫～袋詰め作業であるが、機械等による省力化は困難である。そこで、長期間、高品質（太さ）を維持しながら収穫～袋詰め作業を省力化できる技術を開発した。

- (1) 従来15cm×15cmだったシュンギクの栽植密度を20cm×20cmと粗植にして、仕立て方法を4本仕立てに制限することにより、単価の高いAL規格の収量が多くなり(図1)、収穫～袋詰め作業を従来の約70%に省力化できる(表1)。
- (2) 作業時間1時間当たりの販売金額(販売金額／作業時間)は、従来の約140%に増加する(表2)。

2 期待される効果

省力化による栽培面積の拡大、高品質化による有利販売が期待される。

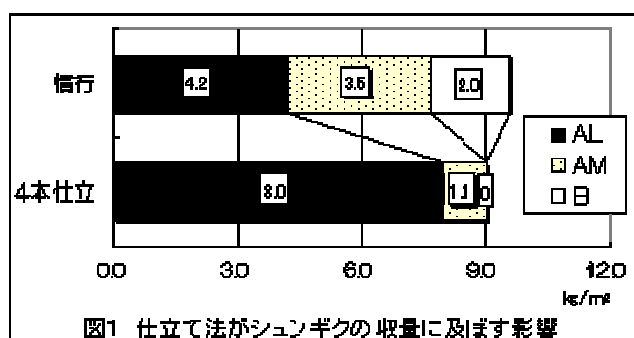
3 適用範囲

県内全域

4 普及上の留意点

株立ち系品種を用いる。

II 具体的データ等



規格

AL: 1袋(200g)中 9~13本入
 AM: 1袋(200g)中 14~13本入
 B: 1袋(200g)中 18本以上入
 JAそうま出荷規格による

表1 株間、仕立て方の違いがシュンギクの作業時間に及ぼす影響

栽植密度	仕立て方	収穫本数 (本/㎡)	作業時間(㎡当たり)				作業時間計 (分)
			育苗定植 (分)	収穫 (分)	調製 (分)	袋詰 (分)	
15X15cm (44株/㎡)	慣行	684	24	118	35	37	213
20X20cm (25株/㎡)	4本仕立	446	11	85	27	28	152

表2 株間、仕立て方がシュンギク販売金額に及ぼす影響

栽植密度	仕立て方	収穫本数 (本/㎡)	面積当たり	作業時間当たり ¹⁾
			販売金額 ²⁾ (円/㎡)	販売金額 ²⁾ (円/h)
15X15cm (44株/㎡)	慣行	684	3,869	1,090
20X20cm (25株/㎡)	4本仕立	446	3,903	1,545

1)作業時間は表1による。販売金額/作業時間

2)販売金額= 時期別規格別収量×その月の規格別平均単価
 平均単価はJAそうまの時期別規格単価を参考にした。

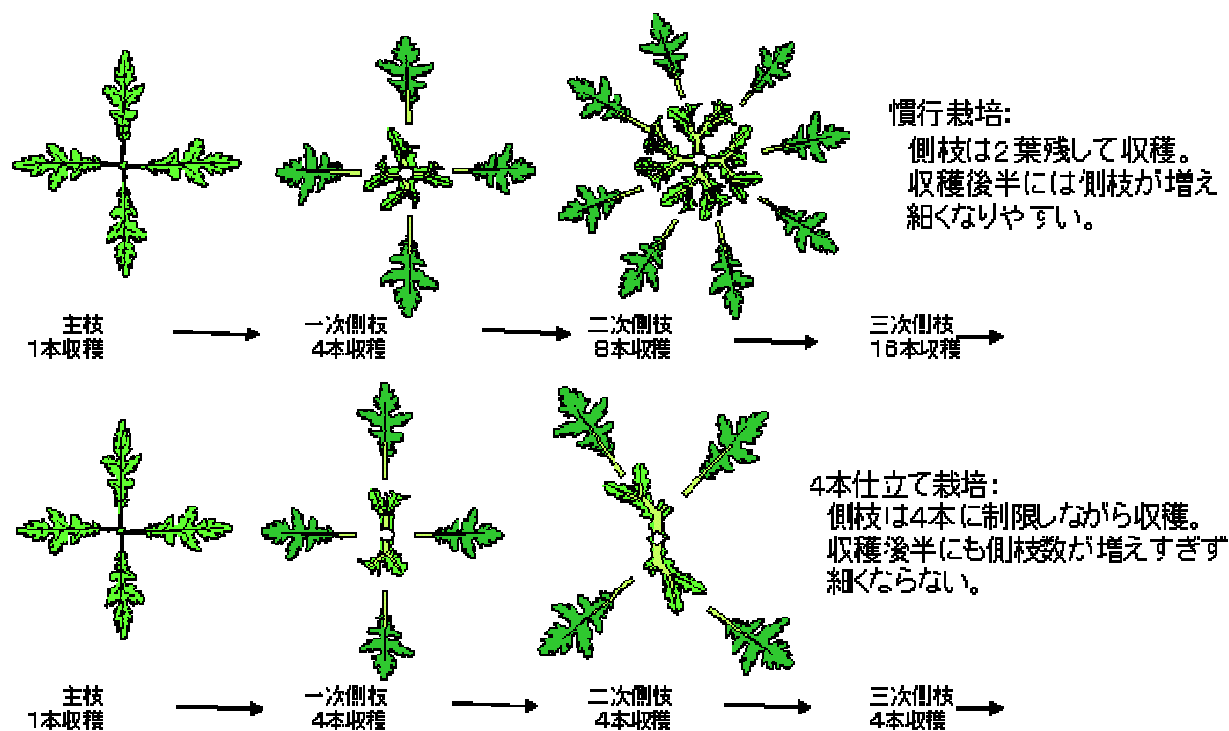


図2 シュンギクの仕立て法 (上: 慣行 下: 4本仕立)

Ⅲ その他

1 執筆者

常盤秀夫、石井睦美、高橋 徹

2 主な参考文献・資料

なし